

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	キッズガーデンかわせみ
日時	2025年 6月 3日
クラス名(年齢)	たんぼぼ組(1歳児)

## 1. 活動テーマ

<テーマ>

描く 【クレヨン】

<テーマ設定理由>

子どもたちが日ごろの遊びの中で自然に行っていたため。様々な道具や自由に表現する楽しさを味わうことをねらいとした活動を行った

## 2. 活動スケジュール

- 12名 各10分
- 4人1テーブルで自由画を楽しむ

## 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定


画用紙 クレヨン(形状の異なるもの 赤、青、黄)

## 4. 探究活動の実践

<活動内容>

- 紙にクレヨンを使って自由画を楽しむ
- クレヨンは形状の違うもの3色(赤、青、黄)を用意し自分で好きなクレヨンを選び、色のつき方や線の違い握りやすさなど試しながら遊んでいく

## <活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

子どもの姿・声	写真
<p>• Hちゃん A君 H君はクレヨンを見ると手に取り、画用紙の上ですべて出す。次にトレーに戻す。出したり入れたりしながらクレヨンの感触、転がったり落ちる様子や音を「あっ!」「あ〜あ」と声をあげて楽しんでいた。遊びを繰り返していると画用紙に点や線の模様がついていたので「ここきれいだね」と声をかけ「こうやって持ってみるのはどう?」とクレヨンを握らせ点を一緒に描いてみる。新しい発見に何度も点を描くがすぐにまた出し入れの遊びにもどり、床にも落とし音や転がる様子を楽しんでいた。</p> <p>• 自由画を楽しんでいた K君は紙がずれたことで机に描き始める、クレヨンが床に落ちるとそのまま床にも描いてみる。描く素材が変わることで新しい楽しみ方を見つけてどんどん線が広がっていくことを楽しんでいた。</p> <p>• R君は3色あるクレヨンから「あお」と青色を選び描き始める保育者が「あかもあるよ」と勧めますが「あおがいいの」と一色で描き続けていた。形状が異なるクレヨンを準備していたためトレーに青が2本あり持ち替えて気分でクレヨンを変えながら青一色で描いていく。</p>	

## 5. 振り返り

<振り返りによって得た保育者の気づき>

同じ素材と画材でも月齢差が大きく低月齢児は絵を描くことよりクレヨンそのもので遊ぶことを楽しんでいた。また楽しみ方もそれぞれで、容器への移し替え、落ちる音や様子、転がる様子など様々な発見をしながら遊んでいた。高月齢児は点や線、色などにこだわったり変化を楽しむ姿が見られた。K君が紙以外の素材に描くことを楽しむ姿があったので次回はいろいろな素材を準備しさらに遊びを深めていきたい

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	キッズガーデンかわせみ
日時	2025年7月30日.
クラス名(年齢)	たんぼぼ組(1歳児)

## 1. 活動テーマ

<テーマ>

描く 【いろいろな素材に描く】
-----------------

<テーマ設定理由>

いつもとは違った環境で様々な素材に描くことをどう楽しむか	クレヨンで段ボール、模造紙、ラミネートに描く
------------------------------	------------------------

## 2. 活動スケジュール

<ul style="list-style-type: none"> <li>・7名 20分</li> <li>・クレヨンでいろいろな素材に描くことを楽しむ</li> </ul>
---

## 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定


クレヨン、ダンボール、模造紙、ラミネート
----------------------

## 4. 探究活動の実践

<活動内容>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・段ボールを子どもの背の高さで部屋のように囲い、その中に模造紙やラミネートを床、テーブルに敷き詰めていく。段ボールの小さな部屋や、箱段ボールのテーブルを設定し子どもたちが好きな場所、好きなスタイルで描けるようにする</li> <li>・クレヨンも2種類準備し使いやすい方を選び取り描いていく</li> </ul>
---

## <活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

子どもの姿・声	写真
<p>Hちゃんは段ボールテーブルに寄りかかりながら立って描き始める。描いていると段ボールのデコボコしたところの感触や音に気づき、他の友だちと一緒に、描くことよりも感触や音に興味をしめす。身体を左右に動かしたり、声をあげ笑いながら楽しそうに描いていた。</p> <p>H君は段ボールの部屋に入り黙々と描く。はじめは座って足元に描いていたが途中で立ち上がると段ボールの側面にも描き始めそのまま壁にも描いていく。壁に付いているコーナーカーのデコボコが気に入り線をなぞる。その後もクレヨンケースの裏面のデコボコに描いてみたり、紙ではない素材を見つけ描くことを楽しんでた。</p> <p>Jちゃんは一つのところでとどまらず友だちの遊びを見て描く場所を変えていく。透明のフィルムの上にクレヨンで描く感触が気に入った様子で色を変えながら描いていた。</p> <p>Mちゃんは興味はあるがいつもと違う空間、雰囲気戸惑い様子を伺う。保育者と一緒に模造紙に描いてみるがすぐに手が止まりクレヨン集めを楽しみ始める。「あかあった」「あおあった」と色の名前を言いながら落ちているクレヨンを拾い集め、全色揃うと「ぜんぶあった」と嬉しそうに話にくる。</p>	

## 5. 振り返り

<振り返りによって得た保育者の気づき>

<p>箱の中に入ったり、囲われた空間で描くことに集中して楽しんでいる姿が見られた。段ボールに描いた際には、描くことと感触やクレヨンを動かすことで出る音を楽しんでいる様子だった。</p> <p>ラミネート用紙(透明でつるつるした感触のもの)や紙、段ボールを用意したことで素材によって違った感触を試しながら描く様子が見られた。クレパスよりもクレヨンの方が発色が良いため、子どもたちが好んで使っているようだった</p>
--

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	キッズガーデンかわせみ
日時	2025年8月21日
クラス名(年齢)	たんぼぼ組(1歳児)

## 1. 活動テーマ

<テーマ>

描く 【絵具遊び①】

<テーマ設定理由>

絵具で自由に表現する楽しさを味わうことをねらいとした

## 2. 活動スケジュール

- ・8名15分
- ・ゆび絵具を手や足につけて描く、色がつくことを楽しむ

## 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定





ゆび絵具(赤、青、黄色)、大きめのバット、模造紙、たらい

## 4. 探究活動の実践

<活動内容>

・大き目のバットに赤、青、黄色のゆびえのぐを用意し、模造紙をテラスの床に貼っておく。大人が手にえのぐをつけて模造紙に描き始める。子どもたちもえのぐを触り描き始める。手で描くのに抵抗がある子は大人が描く様子を見ることから始める。窓ガラスにも描きはじめる。

## <活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

子どもの姿・声	写真
<p>準備の段階から楽しみにしている子どもの様子が見られた。大人がやってみている様子を見て「きいろ〜」「〇〇くんも」など興味を抱いていた。抵抗のない子どもたちは自分から手に絵具を付け、紙に絵具をつけ始める。</p> <p>Gくん感触を楽しんだ後、窓ガラスに描き始めた。色の混ざりや絵具がはじかれ水滴のようになるのが気になる様子。描いては少し観察し、また描いてとやっていた。</p> <p>Mちゃんは赤の色が気に入った様子。自分の手に赤の絵具を付け、腕まで塗り上げていっていた。その後大人が青色の絵具を手につけているのを見て一緒につけ始めていた。</p> <p>自分から絵具に触れるのにはためらいがあったAくんは大人の掌の絵具を触り「あお」と言う。その後、紙に手を付け絵具を塗る。窓ガラスの方で塗っている他児に気が付くと自分から向かい一緒に塗り始める。</p> <p>絵具に触れるのは嫌だが興味はある様子のKくん。指先についた絵具をとるように紙にこすり付けると色が付いたことを発見していた。</p>	   

## 5. 振り返り

<振り返りによって得た保育者の気づき>

画材を絵具にしたことで描くことより感触を楽しむ様子が見られた。いつもの絵具とは少し違い弾力のある感触で指や手でぐちゃぐちゃと潰してみたり、窓に塗ってはじく様子や混ざり合う様子を楽しんだりそれぞれの楽しみ方を見つけながら描いていく。紙ではない異素材に描くことを楽しむ子が多いので次回は紙を設定せず他の素材をたくさん準備しどんな反応が返ってくるのか探っていきたい

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	キッズガーデンかわせみ
日時	2025年8月28日(木)
クラス名(年齢)	たんぼぼ組(1歳児)

## 1. 活動テーマ

<テーマ>

描く【絵具遊び②】

<テーマ設定理由>

前回紙以外の素材に描くことを楽しんでいた為、引き続き絵具での表現や感触を楽しむことをねらいとした

## 2. 活動スケジュール

- ・11名 25分
- ・ゆび絵具を手や足につけて描く。段ボールや窓に描くことを楽しむ

## 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定


ゆび絵具(黄緑、水色、薄橙、黄色)、大きめのバット、段ボール、たらい  
雑巾

## 4. 探究活動の実践

<活動内容>

・大き目のバットに黄緑、黄色、水色、薄橙の絵具を出して用意。段ボールでの囲いテラスに作り、床にも一部段ボールを敷いた。大人が段ボールにゆび絵具を付けたり伸ばしたりし始める。子どもたちも指でなぞったり、様子を見たりし始める。窓に絵具を付けると触ったり伸ばしたりし始めた。感触が好きなおもはバットに手を入れ手や腕につける。段ボールの上を歩くことで色が混ざり、足でも絵具の感触を味わう。大人はビニール袋を被り、そこにも絵具を付けられるようにした。

## <活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

子どもの姿・声	写真
<p>・大人が窓や段ボールにつけると子どもたちも触り始めていた。苦手な子もその場にいることは嫌がらず他の子がやる様子や大人の「きいろ」など何色を伝える様子を見ていた。窓についた絵具を自分で触ってみる子どもが多く、バットや段ボールの上で触るのは嫌がる子も窓では描いていた。Hちゃんは自分から絵具に触ろうとせず。大人の手についていた絵具が手握った際につくと泣いていたが、その手の絵具が窓に付く。その様子に興味を持ったようで自分でも触っていた。</p> <p>・R君は保育者の着ているビニール素材に興味を持つ保育者が「こーやってべたべたしてみたいよ」と見せると初めは恐る恐る触っていたが慣れてくると両手で色がつく様子を楽しむ。前だけでなく後ろにも回り込み笑いながら色のつく様子やビニールの感触、音を楽しんでいた。</p> <p>・G君は自分の手のひらに黄色い絵具をたっぷりつけて保育者に見せにくる。保育者は水色絵具の手ひらに塗り、G君と手を合わせ感触を楽しむ。手を離すと色が変わっていることに気づいたG君は「あれ?なんだ?」と不思議そうに自分の手を何度も見ていた</p>	

## 5. 振り返り

<振り返りによって得た保育者の気づき>

前回の絵の具遊びから窓に描くことを楽しむ子どもたちがおり様子を見てみると色がついた窓にグルグルと円を描く子がいた。一人が描き始めると隣にいた子も描き始め窓にたくさんの丸ができていく。指で描く、手のひらで描くと表現方法はさまざまであったが感触遊びから新しい遊びに展開していた。床やビニール、段ボールと素材が違うことで感触だけでなく音や色の変化など一人ひとり違う楽しみ方を見つけ遊びこむ姿が見られた。